

自転車利用者に対する啓発ポイント

県内の自転車事故の特徴(過去5年間)

自転車乗用中(第1当)死亡事故

- ◎ 頭部損傷が全体の約5割を占め、ヘルメット非着用が9割強
- ◎ 出会い頭事故が全体の約5割を占め、交差点関連違反(優先通行妨害、指定場所一時不停止)が多い

高齢者(第1当)人身事故

- 出会い頭事故(全体の約8割)の特徴
 - ・ 自宅から500m以内が多い(約4割)
 - ・ 午前11時台を中心に昼間の事故が多い
- 買物目的が多い(約4割)

高齢者以外(第1当)人身事故

- 出会い頭事故(全体の8割)の特徴
 - ・ 自宅から2km超が多い(約3割)
 - ・ 7~8時台・16~18時台が多い
- 通勤・通学目的が多い(約5割)
- 買物・訪問が多い(約3割)

啓発ポイント 自転車利用者(全体)向け

- あらゆる世代で、ヘルメットを着用すること
- 交差点では、信号機や一時停止の交通規制に従うなど、交通ルールを遵守し、安全確認を徹底すること

高齢者向け

- 通り慣れた道路を利用する時や、自宅付近における日常的な買物などの外出でも注意すること

高齢者以外向け

- 通勤・通学時は、時間にゆとりをもつこと
- 夜間は、前照灯を点灯し、前方の道路状況に注意を払うこと

対策

- 各種広報媒体を活用した交通ルールとマナーの周知
- 街頭における指導取締り活動の推進

